

提 言 書

平成 29(2017)年 2 月 23 日

士別市長 牧 野 勇 司 様

士別市次期総合計画検討市民委員会

委員長 齊 木 勲

「士別市公共施設マネジメント基本計画」について

「士別市公共施設マネジメント基本計画」の策定にあたって、多くの市民の参加・参画と、幅広い意見の集約を図るとの市の方針のもと、平成 28 年 3 月 28 日に、本委員会での検討と提言を求められました。私たちは、この間、9 回の委員会を開催し、将来的な財政・人口推計、公共施設の現状に関する分析・評価、維持・運営に関する課題等を踏まえつつ、そのあり方に関する「市民アンケート調査」の結果や各地域で開催された「市民説明会」、さらには「パブリックコメント」による意見・提言等も踏まえ、議論と検討を進めてきました。

本市は、これまでに二度の市町村合併を経てきたことから、中央市街地区はもとより、朝日地区、各出張所地区に様々な施設が設置されており、現在、その多くで老朽化が進み、更新時期を迎えようとしているなか、更新に要する費用を今後どのように確保していくかが課題となっています。さらに、人口減少や少子高齢の進行と市民ニーズが多様化するなかで、将来の公共施設のあり方を見直さな

ければならない状況にあります。

このようななかで、市民が必要とするサービスを将来にわたって持続的に提供できる取り組みを進めるため、「公共サービス提供のあり方や公共施設の配置の見直し」、「公共施設の管理や運営方法の見直し」、「既存施設の長寿命化」の3つを柱として、基本方針の策定に携わってきました。

この間の議論から、計画案のとおり、今後25年で長寿命化、維持管理の効率化、統廃合などの取り組みを行いつつ、現在の延床面積を20%程度削減することで、将来的な財政・人口規模に見合った公共施設の規模に最適化していくことができるものとの結論に至りました。ついては、本計画にパブリックコメントでの意見も加味し、成案化を図るべきと判断します。

今後、公共施設の最適化に向けて、具体的に取り組むを進めていくうえでは、様々な課題の解決が必要となりますが、市民の理解を深めつつ、さらには、議会との連携の下、本市における公共施設のあるべき姿の実現に向け、一層の努力を期待するものです。

本計画が、本市の安定的かつ持続的な発展につながるものとなるよう祈念し、提言とします。